鈴鹿工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	英語ＩＢ

科目基礎情報

科目番号	0009	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	電気電子工学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	教科書：『PROMINENCE English Communication I』（Workbook等含む）（東京書籍）参考書：『COCET2600-理工系学生のための必修英単語2600-』（成美堂），『工業英語ハンドブック』（日本工業英語協会）		
担当教員	長井 みゆき		

到達目標

社会，科学，文化などに関する英文の内容を理解する読解力・聴解力，内容に関する質問に答えたりできる日本語及び英語でのコミュニケーション能力を身につけている．

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目１	英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用しながら，明瞭で聞き手に伝わるように，句・文における基本的なリズムやイントネーション，音のつながりに配慮して，聞き手に伝わるように音読あるいは発話の応用ができる．かつまた中学で既習の語彙や文法や文構造の定着を図り，高等学校学習指導要領に準じた新出語彙や文法や文構造，及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して応用的に運用できる．	英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用しながら，明瞭で聞き手に伝わるように，句・文における基本的なリズムやイントネーション，音のつながりに配慮して，聞き手に伝わるように音読あるいは発話できる．かつまた中学で既習の語彙や文法や文構造の定着を図り，高等学校学習指導要領に準じた新出語彙や文法や文構造，及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切に運用できる．	英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用しながら，明瞭で聞き手に伝わるように，句・文における基本的なリズムやイントネーション，音のつながりに配慮して，聞き手に伝わるように音読あるいは発話できない．かつまた中学で既習の語彙や文法や文構造の定着を図り，高等学校学習指導要領に準じた新出語彙や文法や文構造，及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切に運用できない．
評価項目２	日常生活や身近な話題に関して，毎分100語以上の速度ではっきりとした発音で話されたものから必要な情報を聞きとり，その内容の把握を他に適用することができる．説明や物語などの文章を毎分100語以上の速度で聞き手に伝わるように応用的に音読できる．日本語と平易な英語で書かれた文章を読み，その概要を把握し必要な情報を読み取り，その内容の把握を他に適用することができる．他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を応用的に記述できる．	日常生活や身近な話題に関して，毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話されたものから必要な情報を聞きとり，その内容を把握することができる．説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読できる．日本語と平易な英語で書かれた文章を読み，その概要を把握し必要な情報を読み取り，その内容を把握することができる．他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる．	日常生活や身近な話題に関して，毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話されたものから必要な情報を聞きとり，その内容を把握することができない．説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読できない．日本語と平易な英語で書かれた文章を読み，その概要を把握し必要な情報を読み取り，その内容を把握することができない．他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できない．
評価項目３	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い，その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら，その国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明，解釈の適用ができる．	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い，その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら，その国の生活習慣や宗教的信条，価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明し，解釈できる．	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い，その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識しながら，その国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事象を自分たちの文化と関連付けて説明も，解釈もできない．

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	中学校で学習した知識・技能を活用し，幅広い話題について英語で読んだり聞いたりする能力を養うとともに，異文化に対する理解を深め，コミュニケーションの手段として積極的に外国語を活用しようとする態度を育てる．
授業の進め方・方法	すべての内容は，学習・教育到達目標(A)＜視野＞及び（C）＜英語＞に対応する． 「授業計画」における「到達目標」は，この授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする
注意点	＜到達目標の評価方法と基準＞「授業計画」の「到達目標」の確認を中間試験，期末試験で行い，目標の達成度を評価する．達成度評価における各「到達目標」の重みは概ね同じである．評価結果が60点以上の場合に目標の達成とする． ＜学業成績の評価方法及び評価基準＞前期中間・前期末・後期中間・学年末の試験結果を60%，授業中に行う小テスト及び提出課題の結果を40%としてそれぞれの学期毎に評価し，これらの平均値を最終評価とする．但し，学年末試験を除く３回の試験について60点に達していない学生については再試験を行い，60点を上限としてそれぞれの試験の成績に置き換えるものとする． ＜単位修得要件＞学業成績で60点以上を取得すること． ＜あらかじめ要求される基礎知識の範囲＞中学校３年間で学習した英単語,熟語，英文法の知識． ＜レポートなど＞授業に関連した小テスト及び課題を課す． ＜備考＞本科目は英語ⅡＡ及び英語ⅡＢの基礎となるものである．教科書英文の音読を含めた予習をし，積極的に授業に参加すること．授業には必ず英和辞典（電子辞書も可）を用意すること．

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標

前期	1stQ	1週	授業の概要，効果的な学習の進め方，辞書の活用法など Lesson 1 We Are Together (1)	英語運用能力 1.「授業内容」に示した教科書の英文の内容が理解できる. 2.英文の内容に関して簡単な質疑応答が英語でできる. 3.教科書の英文に使用されている英単語・熟語の意味を理解し，使用できる. 4.既習の英語表現を使用し，基本的な英文が作成できる. <文法に関する理解> 5.文構造、to不定詞、動名詞の用法が理解できる. 6.現在完了形、節を表す形式主語のit、受け身の用法が理解できる. 7.関係代名詞、分詞の後置修飾、助動詞の用法が理解できる. 8.使役動詞・知覚動詞、過去完了形、S+V+O（O = whatなどで始まる節）の用法が理解できる. 9.句を表す形式主語のit、関係代名詞の非制限用法、未来完了形の用法が理解できる. 10.関係副詞、to不定詞の意味上の主語、仮定法過去の用法が理解できる. 11.seemなどの動詞、S+V+O1+O2（O2 = that節）、S+suggestなど+that+S+V（V =動詞の原形）の用法が理解できる 12.分詞構文①、S+be動詞+C（C = that節）、仮定法過去完了の用法が理解できる. 13.関係代名詞what、付帯状況のwith、強調構文の用法が理解できる. 14.S+V+O1+O2（O2 = whatなどで始まる節）、S+V+O1+O2（O2 = ifまたはwhetherで始まる節）、分詞構文②の用法が理解できる. <語彙力> 15. 1500語レベルの英語語彙の意味が理解できる.
		2週	Lesson 1 We Are Together（2)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>5 <語彙力>15
		3週	Lesson 1 We Are Together（3)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>5 <語彙力>15
		4週	Lesson 2 Animal Emotions (1)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>6 <語彙力>15
		5週	Lesson 2 Animal Emotions (2)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>6 <語彙力>15
		6週	Lesson 3 One Ocean, One People (1)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>7 <語彙力>15
		7週	Lesson 3 One Ocean, One People (2)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>7 <語彙力>15
		8週	中間試験	
	2ndQ	9週	Lesson 4 Landfill Harmonic (1)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>8 <語彙力>15
		10週	Lesson 4 Landfill Harmonic (2)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>8 <語彙力>15
		11週	Lesson 5 Katsushika Hokusai, a Japanese Genius (1)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>9 <語彙力>15
		12週	Lesson 5 Katsushika Hokusai, a Japanese Genius (2)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>9 <語彙力>15
		13週	Lesson 6 A Strange but True Superhero (1)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>10 <語彙力>15
		14週	Lesson 6 A Strange but True Superhero (2)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>10 <語彙力>15
		15週	Review	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>5～10 <語彙力>15
		16週	前期末テスト	

後期	3rdQ	1週	前期末試験の解説 Optional Reading [1]	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>5～10 <語彙力>15
		2週	Optional Reading [2]	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>5～10 <語彙力>15
		3週	Lesson 7 What's an Ig? (1)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>11 <語彙力>15
		4週	Lesson 7 What's an Ig? (2)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>11 <語彙力>15
		5週	Lesson 8 The State-of-the-Art Origami Engineering (1)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>12 <語彙力>15
		6週	Lesson 8 The State-of-the-Art Origami Engineering (2)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>12 <語彙力>15
		7週	Lesson 8 The State-of-the-Art Origami Engineering (3)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>12 <語彙力>15
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	Lesson 9 Father of the Paralympic Games (1)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>13 <語彙力>15
		10週	Lesson 9 Father of the Paralympic Games (2)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>13 <語彙力>15
		11週	Lesson 9 Father of the Paralympic Games (3)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>13 <語彙力>15
		12週	Lesson 10 Save Washington Square Park! (1)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>14 <語彙力>15
		13週	Lesson 10 Save Washington Square Park! (2)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>14 <語彙力>15
		14週	Lesson 10 Save Washington Square Park! (3)	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>14 <語彙力>15
		15週	Review	上記のうち 英語運用能力1～4 <文法に関する理解>11～14 <語彙力>15
		16週	学年末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	
			英語運用能力の基礎固め	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	
	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	1	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	1	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	1	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	1	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	1	

				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	1	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	1	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	1	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	1	

評価割合

	定期試験	小テスト・課題等		合計
総合評価割合	60	40	0	100
配点	60	40	0	100